

BI-3-iii-08	環境学 A	第 3 学年	後期 選択必修	0.5 単位
担当者	山崎 正博			
一般目標 (GIO)	人々の健康にとってより良い環境の維持と公衆衛生の向上に公的機関等で貢献できるようになるために、生活環境と健康との関わりにおける基本的知識と技能を修得する。			
到達目標 (SBOs)	地域の生態系や生活環境を保全、維持できるようになるために、環境汚染物質などの成因、測定法、生体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する応用的事項を修得する。			
受講心得・準備学習等	授業内容は 4 年次に行われる衛生学 III と重複する点があるが、本授業では公的機関などに就業し、公衆衛生の維持に貢献することも視野に入れ、より実践的な知識・技能を早期に習得することを主たる目的とする。その旨を心得て、授業に望むこと。			
事後学習・復習等	受講内容と授業内テストの解説は、後日 HoLs において公開するので、復習をしっかりとすること。			
オフィスアワー	平日の 13:00 ~18:00、メールによる質問・相談は、随時受け付ける。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義
回	項目	内容
1	環境学概論	地球環境と地域環境、環境保全への取り組み
2	空気・大気	大気環境 (屋外・室内)
3	空気・大気	大気汚染と公害
4	上水環境	浄水処理、水環境の測定法
5	下水・排水	下水処理、排水基準と測定法
6	廃棄物・まとめ	各種廃棄物の法的規制、本授業のまとめ

成績評価の方法	授業内で行うテストの成績を基に判断し評価する。
成績評価の基準	授業内テストの成績を基に、60%以上を単位認定と判定する。
教科書	日本薬学会 編「スタンダード薬学シリーズ II 5 健康と環境」(東京化学同人)
参考書など	井出 速雄、武田 健 編「衛生薬学—新しい時代—」(廣川書店) 一般財団法人厚生労働統計協会「国民衛生の動向 2016/2017 年」